



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 1月号
令和8年1月8日発行

夢のかなえ方

保護者・地域の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校教育の充実に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。新年を迎え、子どもたちは気持ち新たに希望をもって本日登校してきたことと思います。教職員もそんな子どもたちの思いを大切に、夢に向かって頑張る子どもたちを全力で応援したいと気持ちを新たにしているところです。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

さて、11月8日は本校の創立記念日で、今年度創立86周年を迎えています。毎年、本校卒業生の方に子どもたちへのメッセージをいただいています。今年度は、国連WFP (World Food Programme) で民間連携推進マネージャーとして活躍されている先輩に創立記念集会にお越しいただきました。三笠小学校在籍時代は、マーチングバンドを頑張り、毎日新しいことを学べるのが楽しくて、学校が大好きだったそうです。なんと、本校の児童会の歌も作曲されたそうで、今でも歌い継がれていることを喜んでおられました。「6年間の小学校生活で、自分が何が好きなのかを探すのが大切。どれだけ好きでもつらいことは必ずあるけれども、好きなら乗り越えられる。6年間でしっかり自分の好きを見つけてほしい。世界には様々な国があり、電気も水もなくろうそくの火で勉強している子どもたちもいる。そんな状況の中でも頑張ることはみんなできる。努力したくなる好きを見つける毎日を過ごしてほしい。好きを見つけること。これが、私の夢のかなえ方です。」子どもたちは、日々を大切に生きたいという思いをもったことでしょう。好きこそものの上手なれ。無限の可能性を秘めている子どもたちは、何がきっかけで一生の夢につながる好きを見つけるか分かりません。好きなことを見つける旅を続ける子どもたちに、様々な出会いや体験の場を与えられる学校でありたいと思います。

このお話の中で、もう一つ、印象に残ったことは、国連での仕事内容についてです。「学校給食プログラム」に関わっておられ、国連WFPの仕事は、アンパンマンのような仕事ですとおっしゃっていました。世界には、学校給食があるから1日1回はごはんが食べられるという国もあるそうで、例えばセネガルではキッチンも屋根もない場所で、子どもの母親たちがボランティアで給食を作っているそうです。学校給食があるから学校に行きたいという子どもがいることは世界中どこでも同じであり、世界中で学校給食に携わる仕事に誇りをもっておられることが伝わってきました。本校でも1月には「給食週間」の取組を行います。正しい食生活を身に付け、給食に関わる方々に感謝し、食文化に興味関心をもつことが目的です。学校給食をはじめとする「食育」では、子どもたちに「食を選択する力」を身に付けさせたいと考えています。舞鶴市では3学期から小学校学校給食の無償化も実施されることとなり、市民の皆様から応援していただいています。感謝して給食をいただき、夢に向かって精いっぱい頑張るパワーを出せるように健康な体づくりをしましょうと子どもたちにも伝えます。

3学期は学年のまとめの時期であるとともに、次の学年や学校への進級・進学に向けて準備する時期でもあります。「この1年で子どもが育った」と皆が実感できるように、1日1日を大切に教育の充実に努めます。3学期も皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 高峰 真実 教職員 一同